

鹿児島市

自分らしく健やかに暮らせるまちへ ～ピアサポーターと共に～

本市では、令和元年度から、ピアサポーターとの協働を土台とした地域づくりの推進と地域移行支援の充実に取り組んできた。
構築支援事業を活用し、これからの「にも包括」について検討していく。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

鹿児島市（中核市）



火山の妖精
マルニオン

取組内容

【支援体制づくりの協議の場】

- ・地域移行推進会議

【ピアサポーターの活動基盤づくり】

- ・ピアサポーター養成講座
- ・ピアサポーター交流会、ピアサポーター専門研修
- ・ピアサポート会議

【地域移行の促進】

- ・ピアサポーターを活用した地域移行支援
- ・ピアサポーターを活用した地域定着に関する支援
- ・ピアサポーターを活用した入院患者との交流

【普及啓発】

- ・ピアサポーターを活用した地域等での交流・体験談発表
- ・ピアサポーターを活用した市主催事業等での普及啓発活動
- ・心のサポーター養成研修

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R8年4月時点）	1	か所
市町村数（R8年4月時点）	1	市町村
人口（R8年4月時点）	576,783	人
精神科病院の数（R8年4月時点）	18	病院
精神科病床数（R8年4月時点）	3,178	床
入院精神障害者数 （R6年6月30日時点）	合計	2,243 人
	3か月未満（％：構成割合）	421 人 18.8 ％
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	412 人 18.4 ％
	1年以上（％：構成割合）	1,410 人 62.9 ％
	うち65歳未満	384 人
	うち65歳以上	1,026 人
退院率（R6年6月30日時点）	入院後3か月時点	55.2 ％
	入院後6か月時点	71.8 ％
	入院後1年時点	81.8 ％
心のサポーター養成者数	0.0	人
相談支援事業所数 （R8年4月時点）	基幹相談支援センター数	1 か所
	一般相談支援事業所数	56 か所
	特定相談支援事業所数	101 か所
保健所数（R8年4月時点）	1	か所
（自立支援）協議会の開催頻度（R7年度）	（自立支援）協議会の開催頻度 精神領域に関する議論を 行う部会の有無	2 回／年 有
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R8年4月時点）	都道府県	無
	障害保健福祉圏域	無
	市町村	有 1 / 1

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

鹿児島市における



市所管・委託・関連団体

地域生活支援拠点

基幹相談支援センター

市精神保健福祉交流センター（はーと・ぱーく）

地域活動支援センター／市内5か所

長寿あんしん相談センター（地域包括支援センター）／市内20か所

市社会福祉協議会

市民生委員児童委員協議会

部署・主な業務

地域福祉課

・重層的支援体制整備

保健支援課（市保健所）

・精神障害者保健福祉手帳
・自立支援医療（精神通院）
・障害福祉サービス（精神）
・精神保健福祉相談
・にも包括

障害福祉課

・身体障害者手帳 ・療育手帳
・障害福祉サービス（身体・知的）

認知症支援室

・高齢者虐待防止

こども家庭支援センター
保健センター・保健福祉課

教育委員会

・スクールソーシャルワーカー

保護課

市民相談センター

住宅課

外部機関

県障害福祉課・伊集院保健所

県精神保健福祉センター（ハートピア）

かごしま子ども・若者総合支援センター（ひきこもり地域支援センター）

県児童相談所

県立始良病院（精神科）／始良市

医療機関（精神科）／市内18か所

診療所・クリニック（精神科・心療内科を標榜）／市内24か所

精神科訪問看護／市内83か所

福祉サービス事業所／（計画相談）101か所、（共同生活援助）115か所／（一般相談支援事業所）56か所／（就労継続支援事業所A型）38か所／（就労継続支援事業所B型）199か所

警察署／中央・西・南

消防署／中央・西・南

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

鹿児島市で実施している事業

（１）精神保健医療福祉体制の整備に係る事業

- ・障害者自立支援協議会精神保健福祉部会（年2回）

（２）普及啓発に係る事業

- ・家族教室（年1回）
- ・働きざかりのためのリラクゼーション講座（年1回）
- ・ゲートキーパー養成講座・ゲートキーパー養成講座修了生研修（定例6回程度、その他依頼に応じて実施）
- ・市政出前トーク「精神障害を正しく理解しよう」「みんなで支える心といのち」（依頼に応じて実施）
- ・ピアサポーターによる体験談発表（依頼に応じて実施）
- ・はーとまるしえ
- ・ゆうあいフェスティバル
- ・心のサポーター養成研修

（３）住まいの確保や居住支援に係る事業

- ・居住支援協議会【住宅課】
- ・精神障害受け入れ可のグループホーム空室情報を市精神保健福祉交流センターのホームページに掲載

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

（4）当事者・家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

- ・ピアサポーターバンク事業 [ピアサポーター交流会、ピアサポーター専門研修、体験談発表 など]
- ・ピアサポーターステップアップ事業 [地域移行支援、入院患者との交流 など]
- ・ピアサポーター養成講座
- ・自助グループ活動支援 [セルフヘルプフォーラム開催等]
- ・兄弟姉妹の会 ・家族会支援 [市精神保健福祉連絡協議会]
- ・ピュアーズ杯 ・精神保健福祉ボランティアサークル「ゆめの実」支援
- ・ここで描く絵画展

（5）精神医療相談・医療連携体制の構築に係る事業

- ・自殺対策事業
- ・精神保健福祉相談 [来所相談、精神科医師対応] (月2回程度)
- ・精神科救急医療電話相談窓口 [夜間休日対応]
- ・精神科医療機関と保健所との連絡会議 (年1回)

（6）障害者等の地域生活支援に係る事業

- ・個別支援 [地区担当制]
- ・措置入院者退院後支援 ・医療観察法の対象者の支援
- ・自殺未遂者支援
- ・若者等サポート事業【保護課】

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

（7）地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

- ・地域移行推進会議［医療と地域の支援者が集う場］（年6回）

（9）その他、地域包括ケアシステムの構築に資する事業

- ・重層的支援体制整備事業【地域福祉課】

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

【事業の主な目的】

ピアサポーターの活動基盤を整え、精神障害にも対応した地域における支援体制の充実を図る。

事業 ねらい	R1	R2～R4 ※R3はピアサポーターステップアップ事業の実施		R5	R6	R7	R8	
	長期入院精神障害者の 地域移行推進事業	長期入院精神障害者の 地域移行推進事業	ピアサポーター ステップアップ事業	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業				
支援体制づくり の協議の場	地域移行推進会議	地域移行推進会議		地域移行推進会議	地域移行推進会議	地域移行推進会議	地域移行推進会議	
	地域移行戦略会議	地域移行戦略会議		地域移行戦略会議	地域移行戦略会議	地域移行戦略会議	地域移行推進会議	
				地域移行促進会議	ステップ アップ	地域移行促進会議	ステップ アップ	地域移行促進会議
意識啓発活動							心のサポーター養成研修 (+ピアサポーター養成講座) (+ボランティア養成講座) (+メンタルヘルス講演会)	
ピアサポーターの 活動基盤づくり 【業務委託】	地域移行スタッフとして活躍 する ピアサポーターの訓練	地域移行スタッフとして活躍 する ピアサポーターの訓練		地域移行スタッフとして活躍 する ピアサポーターの訓練	活用	地域移行スタッフとして活躍 する ピアサポーターの訓練	活用	
	ピアサポーター養成講座	ピアサポーター養成講座		ピアサポーター養成講座		ピアサポーター養成講座		
			交流会	交流会	バンク	交流会	バンク	交流会
			フォローアップ研修	フォローアップ研修		フォローアップ研修	バンク	ピアサポーター専門研修
			スキルアップ研修	ピア会議		ピア会議		ピア会議
			地域移行支援等	地域移行支援等		地域移行支援等		地域移行支援等
			入院患者との交流	入院患者との交流	ステップ アップ	入院患者との交流	ステップ アップ	入院患者との交流
地域移行の 促進 【業務委託】			体験談発表	体験談発表		体験談発表		体験談発表
			市民との交流	市民との交流		市民との交流		市民との交流
普及啓発 【一部、業務委託】							心のサポーター養成研修へ統合	
構築推進	精神保健福祉推進事業内の普及啓発事業の一部（ボランティア養成講座、メンタルヘルス講演会）					心のサポーター養成研修へ統合		
構築推進					【国事業】精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業（1～3年で終了） 広域アドバイザー、密着アドバイザーによる支援			
							構築推進サポーターの支援	

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜R7年度 成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R7年度当初)	実績値 (R7年度末)	具体的な成果・効果
①ピアサポーターによる個別支援 (地域移行支援・地域定着に関する支援)	153回	104回	ピアサポーターが地域移行支援や地域定着に関する支援を実施。 精神科病院に入院する患者に寄り添う支援を行うことができた。
②ピアサポーターによる普及啓発活動 (体験談発表等)	10回	6回(222名)	精神科病院の患者や職員、地域団体(学校等)に向けた体験談発表などを実施。 精神障害に対する正しい知識の普及啓発を図ることができた。
④地域移行支援決定者数(延)	27名	53名	地域移行決定者数(延)のうち、ピアサポーターの関わりがあった方は16名。 地域移行支援を利用して退院に繋がった方は24名。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・令和元年度から、ピアサポーターとの協働を土台とした、地域づくりの推進、地域移行支援の充実に取り組んできた。
- ・医療・地域・行政等の支援者が集う協議の場があり、顔の見える関係づくりが進んでいる。
- ・精神保健福祉部会等の協議の場に当事者が参画している。

課題		課題解決に向けた取組方針		課題・方針に対する役割(取組)	
地域移行支援を活用する医療機関と相談支援事業所が固定化し、地域移行支援の活用が広がらない	退院支援や地域移行支援への理解を深めるための機会や、にも包括事業の制度等について周知を図る	行政	制度の周知、地域移行推進会議開催		
		医療	直接訪問し、現状についてヒアリング 地域移行推進会議等における情報提供 ピアサポーターステップアップ事業活用促進		
		福祉	地域移行推進会議等における情報提供 ピアサポーターステップアップ事業活用促進		
		その他関係機関・住民等			
危機介入移行前に、未治療・治療中断者へのアプローチが必要とされている	既存の会議体で解決に向けた方針を検討する 個別事例を通じて、多職種が連携して地域生活支援を実施する仕組みづくり 既存の講演会等を活用し、地域住民に正しい知識をもってもらう	行政	スムーズな連携のため、「にも包括」を目指すべき目標として共通認識する		
		医療	精神保健福祉相談や重層的支援への協力		
		福祉	個別支援での連携		
		その他関係機関・住民等	病気に対する理解を深める		
課題解決の達成度を測る指標		現状値 (R8年度当初)	目標値 (R8年度末)	見込んでいる成果・効果	
①地域移行支援支給決定者数(延)		53人	53人		
②地域移行支援を利用した医療機関数		10力所	18力所		
③地域移行支援を利用した相談支援事業所数		12力所	28力所		
④地域移行支援を利用した退院者数		24人	24人	個別ケースから「にも包括」を構築する上での課題を明らかにする	

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況（事務局）

- 【にも包括構築の体制】
- ・ にも包括構築に向けての取組として「ピアサポートの活用」に注力してきた。
 - ・ 会議体を通して、医療・福祉との顔の見える関係構築が進んでいる。

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
保健支援課	「にも包括」事業 精神保健福祉相談 精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）、障害福祉サービス 自立支援協議会精神保健福祉部会	障害福祉課	身体障害者手帳、療育手帳、 障害福祉サービス、自立支援協議会
		地域福祉課	重層的支援体制整備事業

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	母子、児童福祉、高齢者の担当部署において、個別ケース支援や会議を通じて連携。	保健師配属のローテーションにより、連携がとりやすい。
医療	市内の精神科医療機関と診療所の医師に、保健所で実施している精神保健福祉相談に協力をもらっている。 地域移行に積極的な医療機関のスタッフが、地域移行推進会議に参加。	連携が取れている医療機関とそうでない医療機関がある。 各機関の連携ニーズについて把握ができていない。
福祉	地域移行に積極的な事業所のスタッフが地域移行推進会議に参加。 ピアサポートの活用に係る事業を委託。	定期的な会議により、関係構築が進み、密な連携が可能。 地域活動支援センター、基幹相談支援センターの機能強化が課題。
その他関係機関・住民等	民生委員から地域の処遇困難事例について随時情報提供がある。	

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	既存の会議体を活用している場合はその名称・課題・強み等
障害者自立支援協議会精神保健福祉部会	保健：保健所	2回/年	にも包括推進のための協議の場として、課題及び解決に向けた方向性、目標を検討	多機関が関わることで、各自でできる取組や目標を検討することができる。
	医療：精神科医療機関 作業療法士協会 看護協会			
	福祉：地域活動支援センター 基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等： 当事者・民生委員・NPO法人・市障害福祉課 等			
地域移行推進会議	保健：保健所	6回/年	地域移行定着支援者リストに基づく支援進捗状況の共有、事例検討等	他病院のリストについて情報共有することで、似た事例があった際に地域移行支援を行うヒントや参考となる。
	医療：精神科医療機関			
	福祉：一般相談支援事業所 地域活動支援センター 基幹相談支援センター			
	その他関係機関・住民等： ピアサポーター			

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための 協議の場に関連する会議等の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
障害者自立支援協議会	保健：保健所	2回/年	障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するための協議を行う。	医療、福祉、行政等が繋がり、地域生活における幅広い議論を行うことができる。
	医療：医療機関			
	福祉：指定相談支援事業所、障害者関係団体			
	その他関係機関・住民等：学識経験者、公募市民			
精神科医療機関と保健所の連絡会議	保健：保健所	1回/年	保健所と医療機関の連携についてや精神保健福祉に係る相談体制等について協議を行う。	保健所の取組や実績の共有、時宜に応じた施策等について情報共有、意見交換を行うことができる。
	医療：精神科医療機関			
	福祉：			
	その他関係機関・住民等：			

【その他事項】

※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください

9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和8年度まで（3年間）

到達目標 （R8年度まで）	精神科平均在院日数の短縮及び1年以上の在院患者数の減少 精神障害者の社会復帰及び社会参加の促進（自分らしく健やかな地域生活を送る）
--------------------------	---

年度	実施内容	具体的な取組
R6年度	にも包括構築支援事業利用開始	ピアサポートの活用に係る事業を中心に展開 密着ADを2名選任
R7年度	事業見直し(次年度実施計画策定)	ピアサポーター養成を見送り、今後について検討 密着ADを3名選任
R8年度	心のサポーター養成研修開始 構築推進サポーター選定 事業の展開 事業利用終了 自治体で推進	にも包括支援体制構築に向けた事業展開 取り組み評価

10 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（短期）

到達目標 (R 8 年度)	事業の見直し、再編を行い、より多くの関係機関と共有・連携を推進
------------------	---------------------------------

時期（月）	実施内容	具体的な取組
5月以降隔月 4～3月	地域移行推進会議 ピアサポーターバンク事業(4月～) ピアサポーターステップアップ事業(6月～) 精神科医療機関ヒアリング	月1の定期的なカンファレンスで、具体的な退院支援方法の検討、事業の進捗状況等の報告 ピアサポーター交流会、ピアサポーター専門研修の開催 地域移行支援や体験談発表等でのピアサポーターの活用 精神科医療機関の現状等について、直接訪問しヒアリング
10月 2月	障害者自立支援協議会精神保健福祉部会(年2回)	地域課題について協議
2月	精神科医療機関と保健所の連絡会議 関係機関向けの研修会開催	にも包括の理念について共有